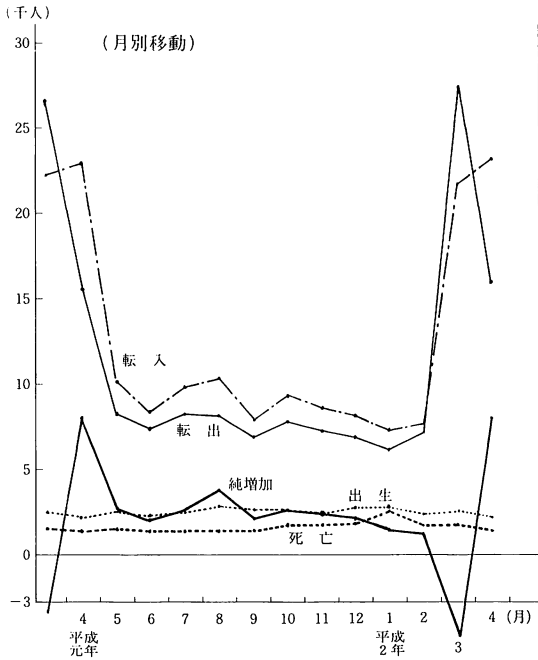


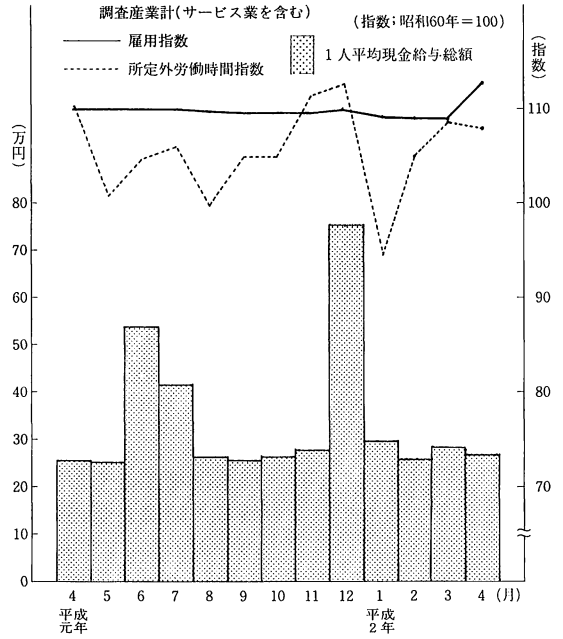
● 今月の主な動き

# 今月の主な動き

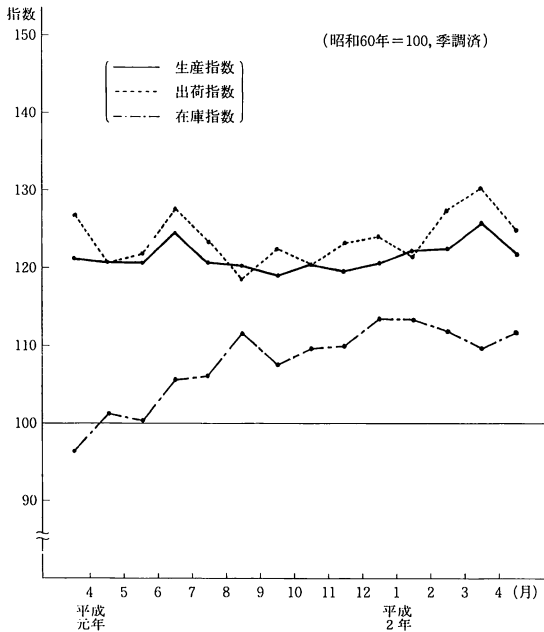
## 人口



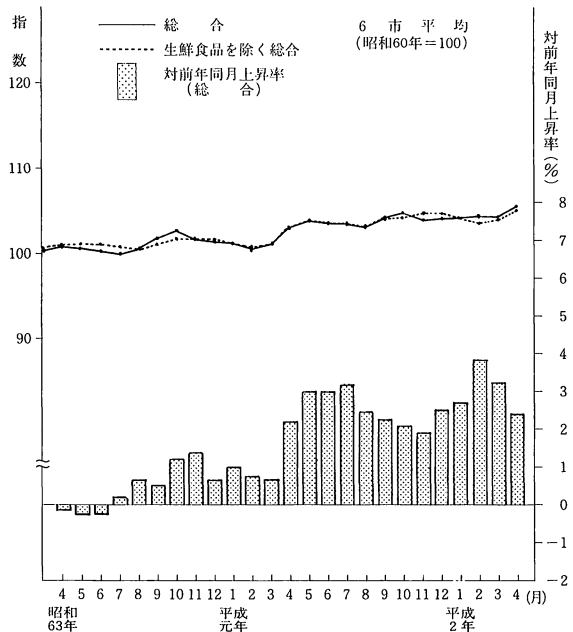
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に8,033人増加し、5月1日現在で2,838,663人(男1,415,222人、女1,423,441人)となった。

内訳は、自然動態で696人(出生2,187人、死亡1,491人)増加し、社会動態で7,337人(転入23,239人、転出15,902人)増加した。対前年同月と比べると25,918人(0.92%)の

増加である。

市町村別では、増加が18市44町村、減少が2市24町村である。

世帯数についても4月中に7,826世帯増加し825,289世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で267,694円、前年同月比3.0%増(前月は2.5%増)であった。このうちきまって支給する給与は264,029円、前年同月比3.5%増(前月は2.7%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は232,376円で、前年同月比3.8%増(前月は3.1%増)であり、超過労働給与は31,653円で、前年同月比1.7%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比0.7%増であった。

2. 労働時間

4月の総実労働時間は、調査産業計で183.0時間、前年同月比2.0%減(前月は0.8%減)であった。このうち所定内労働時間は163.8時間で、前年同月比1.8%減(前月は0.6%減)であった。

また、所定外労働時間は19.2時間、前年同月比3.0%減(前月は2.0%減)であった。

3. 雇用の動き

4月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.4%増(前月は1.6%増)であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (4月分)

本県における平成2年4月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が122.1、出荷が125.1、在庫が111.7で、前月比は、生産が△3.3%の低下、出荷が△4.0%の低下、在庫が1.7%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が1.3%の上昇、出荷が3.7%の上昇、在庫が10.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、石油・石炭製品工業、鉱業、輸送機械工業等が上昇し、精密機械工業、一般機械工業、プラスチック製品工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、電気機械工業、鉄鋼業等が上昇し、精密機械

工業、一般機械工業、金属製品工業等が低下した。在庫では、鉱業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が上昇し、化学工業、食料品・たばこ工業、プラスチック製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、建設財が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、鉱工業用生産財が低下した。

■ 消費者物価指数 (4月)

平成2年4月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.6(昭和60年=100)となり、前月比1.1%の上昇、前年同月比2.5%の上昇となった。

今月上がった主な項目……補習教育17.2%、シャツ・下着7.2%、衣料5.2%、設備修繕・維持4.6%、授業料等3.8%、菓子類2.4%

今月下がった主な項目……通信△1.7%

生鮮食品を除く総合は105.3となり、前月比1.2%の上昇、前年同月比2.0%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.6	1.1	2.5	保健医療	105.6	0.7	0.1
食 料	104.6	0.4	2.5	交通通信	102.6	△0.1	1.5
住 居	115.2	2.0	4.1	教 育	124.3	6.4	6.7
光熱・水道	88.6	0.1	1.7	教養娯楽	109.1	0.9	3.2
家具・家事用品	100.1	0.3	△1.0	諸 雑 費	105.9	0.1	1.1
被服及び履物	109.1	4.5	3.3	生鮮食品を除く総合	105.3	1.2	2.0